

2 北海道帯広三条高等学校

自由曲：女声合唱とピアノのための組曲「女に 第2集」から 死—後生

○課題曲○

- 冒頭2ページの表現の豊かさに引き込まれました。
音色の明るさ、各パートの調和も素晴らしいです。
多彩なアプローチで曲を彩り、歌も主体的！やや子音「K」「S」などが、作業のようで、ただ弱いただけ…に感じます。
「きみ」と「きらきら」のKは同じアプローチでは日本語の表現としては「惜しい！」と思いました。
- 細部まで磨き込まれていて、見事でした。内容によって声の色あいや、息のまぜ具合を工夫できるように思います。72小節からの迫力、とても好きな演奏でした。
- 柔らかく、暖かな音色が素敵です。(特にAlt) 言葉を大切に歌っていたのも Good！
表現意欲タップリで素晴らしい。
- 歌の端々に木目細やかな気遣いが込められており、説得力のある表現になっています。
時々「o」オの母音が濁る時あります。
声量も十分にあり、表現のスケールをupしようとする意思が素敵です。
その分、トーンが硬めになるきらいがあります。
- ことばが立っており、フレーズも丁寧にとらえている。
- 響きのある声づくりができており、Alt、Mez が厚みがある。
- 各声部の音質が揃っている。
一方、ことばにもう少し抑揚がほしい。表現の色に多様性があるとよい。

○自由曲○

- ダイナミクスの振幅、特に弱声方向での「表現力」が欲しいです。
ピアノの語り口の多彩さ、を歌でも活かしたいですね。
pitch と rhythm の安心感があるので、「その音響を使って、何を表現したいのか」までたどり着いて欲しいと思います。
- 迫力があって良かったです。もう少し表現者が作品と距離感を持てれば、とも思いました。
合唱体としての鳴りは申し分ないのですが、この曲には生々しく聴こえてしまうのが惜しかったです。
- 最初の部分、言葉がもう少し出ると良かった。
テンポを少しおとした方が better？ヴォカリーズの部分は美しかった。作品の良さが出ていた。
美しいサウンドと表現力をもった素晴らしい合唱団！！
- 合唱もからだか楽器、その楽器の性能を磨き上げるだけ磨き上げ、追求し、全体がガランのように見事な構築物としてすばらしいと思いました。曲の構造がそのようになっているのか、言葉がよくわかりません。
発音を含めてメッセージを、音だけでなく言葉のニュアンスにまで発展させていってほしいと思いました。
- 難曲によく取り組んでいます。バランスをもう少し調整できると、もっとよいと思います。